

# 生涯無事故のモットー貫く



①幼い頃から車が大好きな鈴木社長②学科講習では分かりやすく指導③教官と生徒の間には信頼関係が生まれる④安全確認後、いざ緊張しながら運転へ⑤自然に囲まれた富谷町で唯一の自動車学校だ



富谷では団地が広がる町の特性上、首都圏など都会からの移住者も多い。そのため主婦が車の必要性を感じ、入校するケースも多く、校内には託児室も完備。また、近年は高齢ドライバーによる事故も多発し、同校では高齢者講習にも重点を置く。受講した町内の80代の女性は「自分では分からないけど、やっぱり若い時とは違うみたい。注意しなくちゃね」と自身の運転を再確認している。

**富谷自動車学校**

免許メニュー：普通免許・中型免許・大型免許・牽引免許・大型特殊免許・大型自動二輪免許・普通自動二輪免許・普通二種免許・中型二種免許・大型二種免許

〒981-3302  
宮城県黒川郡富谷町三の関字膳部沢上11-3  
電話：022-358-8787  
FAX：022-358-8777  
<http://www.menkyo.biz/tomiya/>

**免許取得後のケアまで**

富谷では団地が広がる町の特性上、首都圏など都会からの移住者も多い。そのため主婦が車の必要性を感じ、入校するケースも多く、校内には託児室も完備。また、近年は高齢ドライバーによる事故も多発し、同校では高齢者講習にも重点を置く。受講した町内の80代の女性は「自分では分からないけど、やっぱり若い時とは違うみたい。注意しなくちゃね」と自身の運転を再確認している。

自動車学校における最も大きな柱

教官としてのキャリアは27年になるが「初心を忘れず、生徒たちの気持ちを考えて」といつだって気を緩めることはない。

一方で最若手の沼田宗雄先生(23)は「たくさんの生徒に会えて、その成長する姿に、人は変わるんだと力をもらえる」と醍醐味を話す。繁忙期にはへろへろになることもあるが、「そこは東北高校のサッカー部時代に培った根性がある」と力強い。そんな沼田先生が担当する生徒の一人、三浦青君(18)は「分かりやすく、大事な所は厳しく教えてくれる」と慕い、「将来はランボルギーニに乗ってみたい」という大きな夢を見る。

同校の魅力はその広い敷地や施設はもちろん、教官たちの人柄でもある。同校の笠原俊徳校長(74)は「親切で明るく、笑顔のあふれる学校です」と自慢の教官たちを見やる。

富自が開校するまでは、地域の人々が免許を取得する際には仙台市や大崎市に足を運ぶしかなく不便だった。しかし当時の町は、宅地開発が急ピッチで進み、人口は急増。それに伴い交通量も増え、事故も頻発するようになっていた。

そこで関係団体から打診を受けたのが石巻市で昭和52年から続く石巻中部自動車学校の鈴木隆男社長(59)。悩み抜いた末に「採算性は二の次。まずは車が必要な地域にあって、交通安全に寄与できるなら」と心を決めた。

富自が県公安委員会の指定を受けてから今年の5月で丸25年。町内には多くの団地ができ、町の姿も大きく変わった。今年の10月10日には市政移行も迫っており、鉄道網のない同町における自動車の重要性が増している。

「初心運転者の育成、指導」。しかし、全国で年間4000人以上が交通事故で死亡している現実を深刻であり、富自では事故を分析し、それを防ぐための教習を日々試行錯誤。免許取得した後のケアまで力を入れる。

「自動車学校の使命は時とともに広がっているんだよ」。鈴木社長はそう口にする。車は楽しく、快適な乗り物であり、現代社会、特に地方においては生活必需品。「だけどもね」。鈴木社長は真剣な顔つきで「楽しい裏には、使い方を誤ると凶器になる危険性がある。その自覚を併せ持つて運転してほしい」と地域の交通の将来を育てる覚悟をみせさせる。

「我々の仕事は地域の交通安全に寄与する仕事。やることはたくさんある」。富自が掲げる「生涯無事故」は鈴木社長をはじめ、教官全員の願いだ。そしてそれは、卒業生を含めた全員が実現させなくてはならない使命でもある。

免許を取ったら、友達と車で旅行に行くんです。富谷町内唯一の自動車学校である「富谷自動車学校」は、そんな憧れを自分の努力次第で現実に行ける場所だ。生徒たちには通称「富自」の愛称で親しまれ、平成3年5月14日に宮城県公安委員会の指定を受けてから毎年、全車種合わせて年間1000人以上が免許を取得している。

富自が開校するまでは、地域の人々が免許を取得する際には仙台市や大崎市に足を運ぶしかなく不便だった。しかし当時の町は、宅地開発が急ピッチで進み、人口は急増。それに伴い交通量も増え、事故も頻発するようになっていた。

**憧れ、懐かしの教官紹介!**

現在、富自に勤務するのは社長や臨時教官、受付、清掃員を含めて27人。そのうち教官は男女20人で、年齢は23〜75歳と幅広い。では、どのような人が教官となるのか。最も重要視するのは「車が好き」と「教えることが好き」という2つの「好き」。

さらに「無事故無違反ドライバーであること」も必須だ。これらが備わってこそ生徒たちに「先生みたいになりたい」という気持ちを抱かせることができ、誰もが卒業時に「無事故無違反」を誓うのである。

同校で一番のベテラン教官は桜井光一先生(54)。色つきのメガネで「見強面」に思えるが、「運転するのが好きでね、教えるのも楽しそうだったから」とその原点を柔らかな口調で語る。

「2つの好きを大切に」

覚悟が表れる。

ティードライバーを育成する」という

<p>小野隆宏先生 (33) 教官歴 1年</p> <p>好きな歌手：ONE OK ROCK 一言：安全運転で楽しく運転してください!</p>	<p>沼田宗雄先生 (23) 教官歴 2年</p> <p>趣味：カラオケ、ドライブ 一言：いつでも心にブレーキを!</p>	<p>鈴木沙知先生 (26) 教官歴 6年</p> <p>趣味：スノーボード 一言：富谷自動車学校で皆様とお会いできるのを楽しみにしております。</p>	<p>尾形史帆先生 (41) 教官歴 4年</p> <p>趣味：冬はウィンタースポーツを楽しんで、時間が空いた時にはネイルをして癒されています。 一言：教習車ではいつも地域の皆様のご協力のもと、走行させていただいています。これからも温かく見守っていただければ嬉しいです。</p>	<p>武藤哲至先生 (42) 教官歴 20年</p> <p>趣味：バス釣り、ワカサギ釣り 一言：今年10月には富谷市になり、様々な施設が増え、交通量も増加すると思いますが、心に余裕を持ち、ゆとりのある運転を心掛けていきましょう。</p>	<p>桜井忠一先生 (51) 教官歴 24年</p> <p>趣味：船釣り 得意料理：刺身 一言：町から市へ移行してますます発展していく富谷で、免許を取るなら富谷自動車学校です。</p>	<p>高山幸徳先生 (51) 教官歴 19年</p> <p>好きな歌手：ジョージ・デューク、ザ・テンプテーションズ、鈴木雅之 一言：10月10日には富谷市が誕生します。新たなスタートラインに立つ「TOMIYA DRIVING SCHOOL」をよろしくお願いいたします。</p>	<p>渡辺利昭先生 (53) 教官歴 24年</p> <p>趣味：地元の消防団で伝統芸能を行っています。 一言：寒さに負けず安全運転を!</p>	<p>桜井光一先生 (54) 教官歴 27年</p> <p>趣味：独自天気予想 一言：冬はドライバーにとって危険性が高くなります。優しい気持ちを持って「無事故無違反」の地域を目指しましょう!</p>	<p>笠原俊徳校長 (74) 校長歴 12年</p> <p>座右の銘：顔施(笑顔で接すること) 学生時代の部活動：剣道部 一言：人生一生無事故無違反。初心忘れず。</p>
---	---	--	---	--	--	--	--	---	---